

今日のめあて 聖徳太子について調べよう。

5月 14日(水)

人物紹介

聖徳太子



574年2月7日～622年4月8日

古墳時代後期～飛鳥時代

叔母の[※]推古天皇の下、[※]摂政として
[※]蘇我馬子と協調して政治を行い、
 国際的緊張のなかで[※]遣隋使を派遣
 するなど中国大陸を当時統治して
 いた隋(現中国)から進んだ文化や
 制度をとりいれて、冠位十二階や
 十七条憲法を定めるなど天皇を
 中心とした[※]中央集権国家体制の
 確立を図った。このほか仏教を厚
 く信仰して興隆に努め、後世には
 聖徳太子自体が日本の仏教で尊崇
 の対象となった。

今日のめあて

月 日()

聖徳太子がしたこと

- ① 法隆寺をたてた 仏教を広めるために建てた
- ② 冠位十二階をつくら た 家柄だけでなく、
- ③ 十七条憲法を定めた 能力で役人を決めた
役人の心がまえを示した
- ④ 天皇中心の国づくり 豪族の蘇我氏と協調
- ⑤ 遣隋使の派遣 し政治を行なう。た
隋に小野妹子を送った

ポイント💡

聖徳太子は推古天皇のおい

天皇のかわりに政治をおこなう人
 となった。このことを「摂政」と
 いう。603年に「冠位十二階」を
 制定。これは能力のある人を
 優先的にする制度のこと。

「十七条の憲法」を定めた。

役人の心がまえを17個定めたもの。
 607年に遣隋使を隋に遣いとして
 送る。聖徳太子が政治をおこな
 っていたころの文化を飛鳥文化とい
 う。法隆寺を建立した。

聖徳太子と関係のある人物

聖徳太子と協力して、政治をおこなった。→ 蘇我馬子
遣隋使として隋に2回も渡った。
→ 小野妹子

まとめ 聖徳太子は、蘇我馬子と協力し、政治をおこなった。その中で、法隆寺を建立、十七条憲法を定め、冠位十二階をつくった。聖徳太子は摂政として天皇でもないのに政治をつくった。簡単にいうとすごい人！

⑤ 聖徳太子は摂政で天皇じゃないのに蘇我馬子と政治をおこなったことが分かったし、びっくりした。小野妹子を遣隋使として隋に2回も送ったことを初めて知った。次の偉人についてもくわしく調べたい。

学校で学習したことを、さらに深く調べ、
分かりやすくまとめることができたね！
ふりかえりもちゃんと書いていていい！！

※ 推古天皇 日本の第33代天皇。天皇が女性だったため、聖徳太子が政治をおこなった。摂政 天皇が幼少や病弱であったり、または女帝のときにその代理として政務を行う官職。蘇我馬子 蘇我馬子は、飛鳥時代の政治家、貴族。聖徳太子と協調して政治をおこなった。遣隋使 推古天皇の時、中国文化を輸入するため、日本から隋に派遣された使節。

中央集権 国の政治の権力がすべて中央政府に集中していること。